

SPEAKING

🔗 トイグル Engl!sh

スロット文型 トレーニング

特別ワークブック



はじめに

英語を話したいと思っても、「どうやって文を作ればいいかわからない」と悩む人は多いはずです。

文の作り方がわからない状態で、伝えたいメッセージを日本語で考えると、「文の構造を考えながら、日本語を英語に訳しながら話す」というマルチタスク状態になります。

結果、1つの文を作るのに、途中で詰まったり、頭が真っ白になってしまうのです。

中学レベルの単語を知っていても、文を作るときに頭の中で整理できないと、なかなか口からスムーズに出てきません。

英語を話すためには、「文の型（パターン）」をしっかりと理解し、その型に当てはめて考える練習が大切です。

実は、英語は「主語（S）」と「動詞（V）」を土台にして、必要に応じて「X」を加えるという、とてもシンプルなルールで作られています。

この本では、英語の文を「スロット（枠）」に分けて考え、パズルのように単語をはめ込む感覚を身につけてもらいます。

短くても正しい文を、自分の言葉で組み立てられるように、一緒に練習していきましょう。

トイグルEnglish
田邊竜彦

スロット文型とは？

英語の文は「主語 (S)」と「動詞 (V)」を中心にして、必要な情報を足していく仕組みになっています。

この本では、英語の基本パターンを「スロット」に当てはめて考えます。

「スロット」とは、文の中で単語を入れる「枠」のイメージです。

主語、動詞、Xなどの「枠」に単語を入れて、自分の言いたい文を作ります。

スロット文型: 3つのパターン

パターン	形	例文
パターン1	主語+動詞	I sit. (私は座ります)
パターン2	主語+動詞+X (S = X)	I am busy. (私は忙しい)
パターン3	主語+動詞+X (S ≠ X)	I eat bread. (私はパンを食べます)

パターン1を練習してみよう

英語の基本は「主語 (S)」と「動詞 (V)」です。

この2つがあれば、シンプルでもしっかり通じる文を作れます。

SVパターンは、動作や状態を短く伝える練習に最適です。

✓ 主語 (S) = 誰が、何が

✓ 動詞 (V) = 何をする、どんな状態になる

例文

I agree.
(私は同意します)

She smiled.
(彼女はほほえみました)

It rained.
(雨が降りました)

They waited.
(彼らは待ちました)

We won.
(私たちは勝ちました)

練習問題

英文を並べ替えて文を作ってみましょう。

私は座ります

(sit / I)

→

彼女は立ちました

(stood / she)

→

それは動きます

(moves / it)

→

彼らは話しました
(talked / they)

→

私たちは歩きます
(walk / we)

→

【答え】

I sit.

→ 私は座ります。

She stood.

→ 彼女は立ちました。

It moves.

→ それは動きます。

They talked.

→ 彼らは話しました。

We walk.

→ 私たちは歩きます。

パターン2を練習してみよう

「SVC」は主語（S）＋動詞（V）＋Xの形です。

Xは「主語を説明するもの」や「主語がどんな状態かを表すもの」です。

ポイントは、主語＝Xになる、ということです。

✓ S＝X だからパターン2です。

✓ 例

I am happy.

→ I＝happy（私は幸せです）

She is a teacher.

→ She = a teacher (彼女は先生です)

✓ よく使う動詞

be (...である)

become (...の状態になる)

look (...に見える)

seem (...のように思われる)

appear (...のように見える)

例文

I am happy.
(私は幸せです)

She is a teacher.
(彼女は先生です)

They are ready.
(彼らは準備ができています)

He became angry.
(彼は怒りました)

It seems easy.
(それは簡単そうです)

練習問題

英文を並べ替えて文を作ってみましょう。

私は忙しいです
(busy / am / I)
→

彼女は親切です
(kind / is / she)
→

彼らは疲れています
(tired / they / are)
→

彼は有名になりました
(became / famous / he)
→

それは良さそうに見えます
(looks / it / good)
→

【答え】

I am busy.
→ 私は忙しいです。

She is kind.

→ 彼女は親切です。

They are tired.

→ 彼らは疲れています。

He became famous.

→ 彼は有名になりました。

It looks good.

→ それは良さそうに見えます。

パターン3を練習してみよう

パターン3は 主語 (S) + 動詞 (V) + X の形です。

X は「動作の相手」や「何を、誰を」を表します。

ポイントは、 $S \neq X$ になることです。

- ✓ S は動作をする人
- ✓ X はその動作を受けるもの

だから「 $S \neq X$ 」なのでパターン3です。



例

I love you.

→ I ≠ you (私はあなたを愛します)

She made coffee.

→ She ≠ coffee (彼女がコーヒーを作りました)

✓ よく使う動詞

like (...が好き)

want (...が欲しい)

have (...を持っている)

make (...を作る)

see (...を見る)

read (...を読む)

eat (...を食べる)

buy (...を買う)

例文

I bought fruit.

(私は果物を買いました)

She read a letter.

(彼女は手紙を読みました)

They saw the building.

(彼らはその建物を見ました)

He made dinner.

(彼は夕食を作りました)

We want water.

(私たちは水が欲しいです)

練習問題

私はパンを食べます
(bread / eat / I)

→

彼女は犬を飼っています
(has / she / a dog)

→

彼らは音楽が好きです
(music / like / they)

→

彼はコーヒーを欲しがっています
(coffee / wants / he)

→

私たちは助けが必要です
(need / we / help)
→

【答え】

I eat bread.
→ 私はパンを食べます。

She has a dog.
→ 彼女は犬を飼っています。

They like music.

→ 彼らは音楽が好きです。

He wants coffee.

→ 彼はコーヒーを欲しがっています。

We need help.

→ 私たちは助けが必要です。

まとめ

英語の文は「主語 (S)」と「動詞 (V)」を土台に、必要に応じて「X」を加えることで作られます。

この本では、3つの基本パターン (SV、SVC、SVO) をスロットに当てはめるように考える練習をしてきました。

- SV：主語と動詞だけのシンプルな形
- SVC： $S = X$ になる形（主語を説明する）
- SVO： $S \neq X$ になる形（動作の相手を表す）

これらのパターンを意識することで、英語を「日本語から訳す」のではなく、「英語の型で組み立てる」力がつきます。

短くても正しく伝えられる英文を、自分の言葉で作れるように、ぜひ何度も練習を繰り返してみてください。

英語は「型を知って、当てはめる」ことで、話せるようになります。

あなたのペースで、少しずつステップアップしていきましょう。